

2015年6月25日、株式会社メニコンは東証1部、名証1部に上場をいたしました。

「より良い視力の提供を通じて、広く社会に貢献する」のもと、私たちは新たな道を歩んでいきます。

メニコンは、2015年6月25日、東京証券取引所市場第一部および名古屋証券取引所市場第一部への新規上場をいたしました。

上場から1年経過することができましたのも、日頃の皆様のご支援、ご高配のおかげと、心より感謝申し上げます。メニコンは1951年に創業者 田中恭一が日本初の角膜コンタクトレンズを開発して以来、コンタクトレンズのパイオニア企業として常に新素材・新デザインの開発、製造技術の向上、生産・品質管理体制の整備を進め、業界をリードしてまいりました。

近年は使い捨てコンタクトレンズを中心とした市場の拡大とともに、メニコンの製品ラインアップにおいてもコンタクトレンズの種類を充実させております。

さらに、1日使い捨てコンタクトレンズにおいて新製品を投入するため、上場

時の調達資金により新工場への投資を行いました。

今後も皆様により良い製品、サービスをお届けするため、さらなる製品開発や量産設備への投資を行ってまいります。そして、日本のみならず、グローバルでの製品展開、シェア拡大を図ってまいります。

「より良い視力の提供を通じて、広く社会に貢献する」を企業スローガンに、創業時から受け継がれている、何事にも挑戦し続ける精神や創造性、独創性を発揮し続けてまいります。そして、社会に役立つ製品とサービスを世界に提供し、皆様から尊敬され、愛される企業であることを目指します。

今後も皆様のご期待にお応えべく、企業価値の向上を目指してまいりますので、引き続き変わらぬご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



2015年6月25日 東京証券取引所

企業スローガン

より良い視力の提供を通じて、広く社会に貢献する。

経営理念

Values 価値観

何もないところから、新たな価値を生み出すという、誰もやっていないことに、果敢に挑戦すること。

創造 (Creation) 独創 (Originality) 挑戦 (Challenge)

Mission 私たちはどんな企業でありたいか

メニコングループは、コンタクトレンズで培った技術と人で、社会に役立つ商品やサービスを世界に提供し続ける創造型スペシャリスト企業であること。

Vision 私たちが実現する夢 単なる夢で終わらせない夢

すべてのステークホルダーから尊敬され愛される企業の頂点、No1になる。

ステークホルダーに対するMission

■エンドユーザー

パイオニアカンパニーとして、優れた技術で見える喜びと生きる喜びの提供により顧客満足度を高め、すべての顧客から長く『エンドユーザー』として利用されたい企業と思われること。

■業界関係者

リーダーカンパニーとして、業界発展への積極的な寄与により外部研究者、得意先や取引先などの協同者満足度を高め、すべての業界関係者から長く『パートナー』として関わりたい企業と思われること。

■社員

人間尊重カンパニーとして、自己実現できる生きがいのある就労環境の整備により従業員満足度を高め、すべての従業員から『ファミリー』として働き続けたい企業と思われること。

■株主

道徳尊重カンパニーとして、遵法精神を貫き、健全な業績により株主満足度を高め、すべての株主から長く『サポーター』として応援し続けたい企業と思われること。

■社会

地球市民として、すべての生命や環境、すべての文化や歴史に敬意を払い、すべての市民の満足度を高め、すべての尊厳から永遠に『良き隣人』と思われる企業であること。

沿革

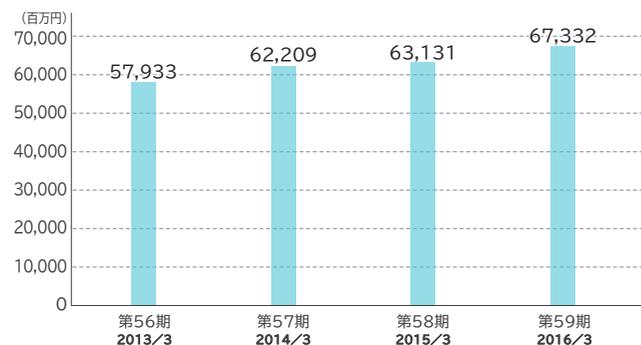
- 1951 日本初の角膜コンタクトレンズを開発
- 1952 当社の前身である日本コンタクトレンズ研究所(個人事業)を開業
- 1957 日本コンタクトレンズ株式会社を設立
- 1965 東洋コンタクトレンズ株式会社に社名変更
- 1967 ブランド名「メニコン」商標登録
- 1979 日本初の酸素透過性ハードレンズ「メニコンO2」発売
- 1982 株式会社メニコン設立
- 1984 主力工場として岐阜県関市に閉工場を新設
- 1995 愛知県春日井市に総合研究所を新設
- 2001 定額制会員システム「メルスプラン」を開始
- 2002 岐阜県各務原市に技術開発施設テクノステーションを新設
- 2010 株式会社トーマー(現株式会社メニコンネク)を買収
- 2011 薄さ約1mmのパッケージの1日使い捨てコンタクトレンズ「Magic」を発売
- 2012 株式会社ダブルユー・アイ・システムを買収
- 2014 サークルレンズ「2WEEK Menicon Rei」を発売
- 2015 1日使い捨てコンタクトレンズの製造工場として岐阜県各務原市に各務原工場を新設
東証1部、名証1部に上場
富士コンタクト株式会社を買収



メニコン本社

財務ハイライト(連結)

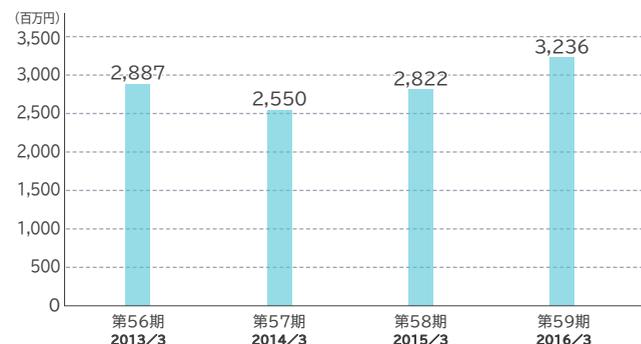
売上高



営業利益



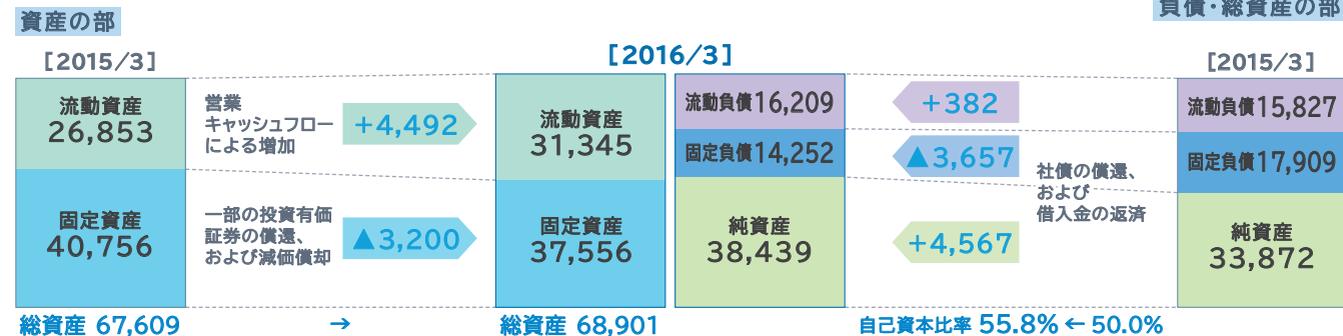
経常利益



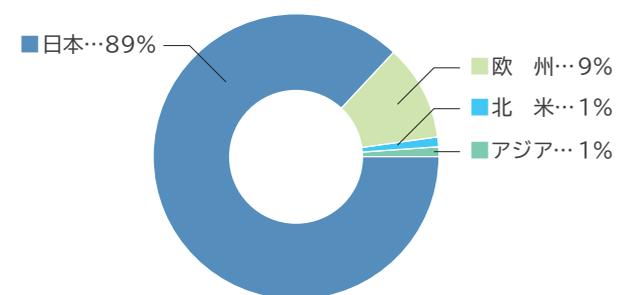
当期純利益



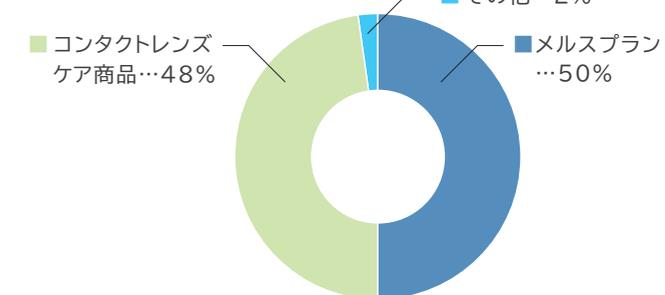
貸借対照表の増減要因 (単位:百万円)



地域別売上高比率



事業別売上高比率



キャッシュ・フローの増減要因 (単位:百万円)



1株あたり配当金



会員数116万人!

※2016年3月末現在

【メルスプランとは】

メルスプランは、メニコンのコンタクトレンズを購入するのではなく月々の定額制でご利用いただくサービスです。いつでも安心してお使いいただくために、充実したサポートを用意しております。万一のトラブル時には新品と交換ができ、常により状態でコンタクトレンズを使うことができます。(※紛失の場合、一部負担金あり)

また、視力やライフスタイルの変化などによりコンタクトレンズが合わなくなったら、いつでも度数・種類の変更ができます。(※眼科医の判断のもと、サービスが受けられます。)快適な毎日を支え、人生を前向きにしてくれるコンタクトレンズ。だからこそ、どんな時も安心して、ベストな状態で使ってほしい。メニコンの想いをカタチにしたサービスです。

Top Message

皆様の眼の健康を守ることに いつも主眼をおいています。

株式会社メニコン 代表執行役社長

田中英成



皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は東京証券取引所ならびに名古屋証券取引所に新規上場を果たした節目の年となりました。そして本年、メニコンは創業65周年を迎えることができました。これもひとえに、私どもを応援し、支えてくださっている皆様のおかげと、心より感謝申し上げます。

メニコンが提供したい価値

私どもは「より良い視力の提供を通じて広く社会に貢献する」を企業スローガンに掲げて企業活動を行っております。皆様の大切な眼の健康を生涯に渡ってお守りすることを使命と捉え、

高品質な製品とサービス提供を心がけてまいりました。そして今後もコンタクトレンズをお使いになる皆様へ、製品とサービスと合わせて、適正な視力矯正、利便性をお届けしたいと考えております。

これらの想いを具現化したサービスのひとつがメルスプランです。

メルスプランへの想い

メルスプランを開始したのは今から10年以上前のこととなります。当時、使い捨てコンタクトレンズの登場もあり、安売り競争が始まっていました。一部の新興の販売店でのサービス低下もあり、誤った使用方法によって眼障害

を発症される方もいらっしゃるような状況でした。このままでは、皆様の大切な眼の健康が守れないと危惧し、安全に使用していただける方法はないか考えておりましたところ、ふとお金の流れを変更するという発想を思いつきました。お客様とメニコンとで直接契約して代金を支払っていただく、販売店にはお客様にサービスを提供いただき、メニコンから販売手数料を支払うという仕組みです。お客様にとっては、月々定額で使うので、自分に合ったコンタクトレンズを選ぶことができ、さらに常に良い状態で使うことができるというメリットがあります。販売店にとってのメリットは、お客様へのサービスに特化

することができるにあります。おかげさまで多くのお客様にご支持いただき、2016年3月末時点で116万人の会員様にご加入いただいております。

2016年3月期の業績について

メルスプランが収益を支え、業績は順調に推移いたしました。

2015年10月には、関東において販売店舗のチェーン展開をしている富士コンタクト(株)もグループに加わり、販売機能の強化を行うことができました。業績において、2016年3月期の連結売上高は過去最高の673億3千2百万円、営業利益は34億5千7百万円となりました。

2017年3月期の業績について

上場時の調達資金にて新工場への投資を行い、1日使い捨てコンタクトレンズの新商品の発売を予定しております。コンタクトレンズ市場の中で特に伸び続けている、1日使い捨てコンタクトレンズ市場で、すでに販売しておりま

す「Magic」と合わせて、シェア拡大を図ってまいります。また、メルスプランの会員数拡大に向けて、直営販売店のブランドリニューアルなど、販売促進活動も強化してまいります。海外市場においては引き続き、欧州、北米、アジア地域にて1日使

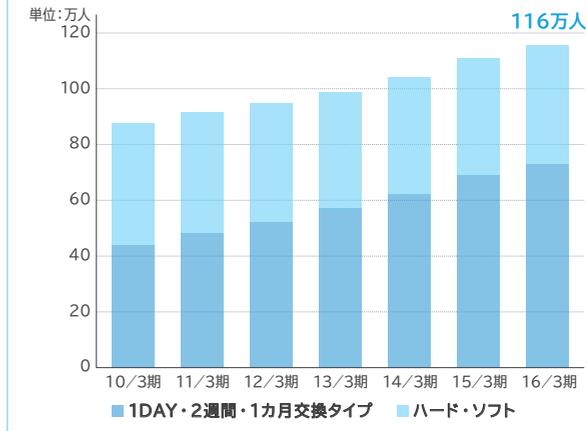
い捨てコンタクトレンズを中心に拡販を行ってまいります。その他事業といたしましては、環境バイオ事業、ライフサイエンス事業、そして子会社の株式会社メニワンでの動物眼科医療事業の3分野について、拡大を目指してまいります。

株主の皆様へのメッセージ

私どもは皆様の大切な眼の健康を生涯に渡って守っていきたくと考えております。

そのために常により良い製品・サービ

メルスプラン累積会員数の推移



スをお届けできるよう、長期の視点で事業への投資を行い、持続的な成長を通じて、企業価値のさらなる向上に努めてまいります。

株主の皆様から永く「サポーター」として応援していただける企業となるべく、まい進してまいりますので、引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



各務原工場を新設、 シリコンハイドロゲルの1日使い捨てレンズを生産します



2015年3月、岐阜県各務原市に工場を竣工し、年度末より稼働を開始いたしました。各務原工場では国産初のシリコンハイドロゲルの1日使い捨てコンタクトレンズを生産いたします。

シリコンハイドロゲルという素材は、瞳の健康にとって大切な酸素を多く通す素材です。皆様一人一人の生活スタイルに合わせて、より快適に使えるコンタクトレンズをお選びいただけるよう、ラインアップいたします。

1日使い捨てコンタクトレンズ市場は日本市場のみならず、世界市場においても拡大傾向にあります。新製品を発売し、1日使い捨てコンタクトレンズ市場におけるシェア拡大を図ってまいります。

また、メニコンは人にも動物にも環境にも優しい地球企業を目指し、企業活動を行っております。各務原工場においては、環境に配慮して温室効果ガスの排出抑制や省エネに対応した設計をいたしました。これにより、生産コストの削減にも貢献しております。



メニコンの新しいコンタクトレンズショップブランド 「Miru」がスタートしました

「コンタクトレンズ選びを、もっと楽しく。お客様の毎日に、うれしさを。」をコンセプトに、新しいショップブランド「Miru」を立ち上げました。お客様一人一人に合ったコンタクトレンズ選びのサポートができるよう、コミュニケーションに重点を置いた店舗づくりを行っております。生活スタイルに合わせて、快適にお使いいただけるコンタクトレンズを紹介したり、見え方について相談させていただいたり、最適な使い方を提案いたします。皆様の大事な眼を生涯に渡って守っていきたいとの思いから、コンタクトレンズの正しい、安全なご使用方法の普及にも取り組んでおります。より良い見え方・快適な使い方で毎日をワクワクと楽しんでいただきたいと願っております。

ミルプラス
「Miru+」ホームページ <http://miru-plus.jp>



眼科医療分野以外の新規事業も強化しながら、 新しい価値の創出に取り組んでいます。

コンタクトレンズやケア用品の研究開発から派生した3分野を新規事業として取り組んでおります。

1つ目は子会社である株式会社メニワンです。人間の眼科分野で培った技術をベースにして、動物用眼内レンズやコンタクトレンズなど、動物の眼科医療を中心に活動しております。2つ目は環境バイオ事業です。ケア用品の開発過程で発見した、植物繊維を分解する酵素を使って、稲わら分解剤、堆肥化促進剤などを事業展開しております。製品を通じて、農業、畜産業などへの支援をしたいと考えております。3つ目はライフサイエンス事業です。眼と体のためのサプリメントなどの販売や、生殖補助医療へのサポートに取り組んでおります。

3分野の新事業



動物眼科医療事業
動物用コンタクトレンズ
“メニわんBL-V”

環境バイオ事業
稲わら分解剤
“アグリ革命”



ライフサイエンス事業
眼と体のための
サプリメント
“ラフェリアイ”

株式情報

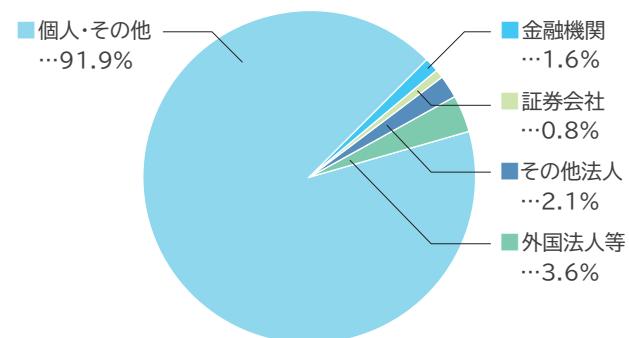
■ 株主状況

発行可能株式総数	62,184,000株
発行済株式の総数	18,319,000株
株主数	2,445名
議決権総数	183,171個

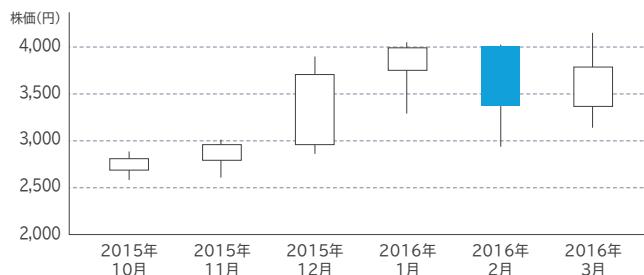
■ 大株主

大株主名	持株数
メニコン社員持株会	1,482,761
株式会社 マミ	1,417,000
田中 英成	1,050,800
株式会社 トヨトミ	991,000
塚本 香津子	707,000

■ 所有者別株主比率



■ 株価関連情報

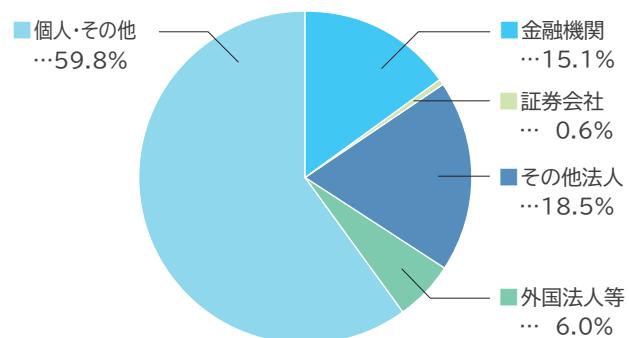


※当社は2015年6月25日新規上市しております。

大株主名	持株数
日本トラスティー・サービス信託銀行株式会社	459,100
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	405,000
株式会社三菱東京UFJ銀行	400,000
田中 康範	341,000
田中 淳子	329,000

2016年3月31日時点

■ 所有者別株式比率



会社概要

会社名 株式会社メニコン

代表者名 代表執行役社長 田中英成

本社所在地 〒460-0006
愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号

電話番号 052-935-1515(代)

創業 1951年2月

設立 1957年7月

資本金 33億2,944万5千円(2016年3月31日時点)

従業員数 1,153名(2016年3月31日時点)

事業内容 コンタクトレンズ・ケア用品事業他

事業所数 営業所15、販売店45、研究所・工場4、カスタマーセンター1、
物流センター4(2016年3月31日時点)

関係会社数 国内5、海外15(10カ国)(2016年3月31日時点)

取引先 全国の病院、眼科医院、コンタクトレンズ販売店、
眼鏡店、薬店卸、海外代理店(アメリカ、ヨーロッパ、
オセアニア、アジアなど、世界80数カ国への輸出)

取引銀行 三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行、りそな銀行、静岡銀行等

URL www.menicon.co.jp / www.menicon.com

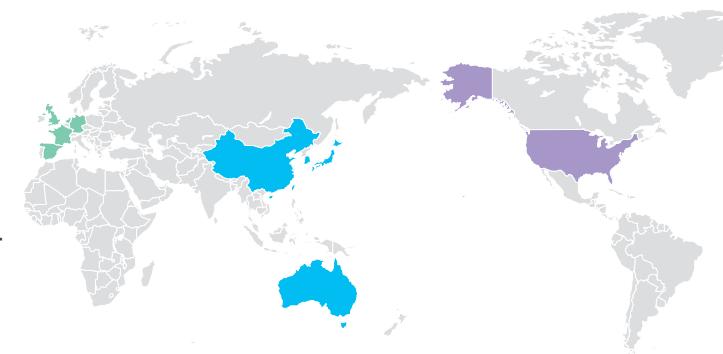
取締役 田中 英成	取締役 石田 泰之
取締役 富金原 守	取締役 米田 静也
取締役 片山 主水	取締役 浅野 鏡太郎
取締役 岡田 廣司	取締役 高木 一博
取締役 堀西 良美	取締役 安田 豊

■ グローバルネットワーク

■ 連結子会社19社 ■ 非連結子会社4社 ■ 持分法適用会社1社

【アジア】

株式会社メニコン
株式会社ダブリュ・アイ・システム
富士コンタクト株式会社
株式会社メニコネット
株式会社メニコンビジネスアシスト
株式会社メニワ
Menicon Singapore Pte. Ltd.
Menicon Singapore Sales Pte. Ltd.
温州欣视界科技有限公司
First Glory Holdings Ltd.
Menicon Korea Co., Ltd.
Menicon Australia Pty Ltd



【欧州】

Menicon Holdings B.V.
NKL Contactlenzen B.V.
Menicon SAS
Menicon Pharma SAS
Menicon GmbH
Menicon Ltd.
Menicon Espana S.L.

【北米】

Menicon America, Inc.
The Lagado Corporation

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	3月31日
剰余金の配当の基準日	3月31日
1単元の株式数	100株
株式の名義書換え 取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
名義書換手数料	無料
新券交付手数料	無料
単元未満株式の買取り 取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告掲載方法 電子公告とする。
<http://www.menicon.co.jp>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

株主に対する特典 なし

配当金計算書について 配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主さまにつきましても、「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は、大切に保管してください。

ホームページのご案内 株主・投資家の皆様へ

